

## 第8回研究助成の研究課題決まる

第8回(平成12年度)マイクロマシン技術に関する研究助成の対象課題が、3月の理事会で決定しました。多数の応募の中から、厳正な審査の結果、別表のように新規研究課題6件、2年度目の継続研究課題6件が選定され、総額1,650万円の助成金を贈呈することになりました。この研究助成の事業は、当センターの自主事業として平成5年度より開始したもので、日頃マイクロマシンに関する基礎的な研究に取り組んでおられる大学の先生方の研究に対し助成を行い、マイクロマシン技術の一層の進展を図るとともに産学交流をさらに推進することを目的としています。

3月26日、研究助成金贈呈式が霞ヶ関ビル内の東海大学校友会館において開催されました。贈呈式では石丸理事長の主催者挨拶、経済産業省佐々木産業機械課長の来賓挨拶、官学産共同研究委員会梅谷委員長から審査結果報告が行われた後、助成対象者の12名の先生方に助成金目録が贈呈されました。また大阪大学の新井教授から、助成金を受けられた先生方を代表して挨拶があり、その後、新規対象課題を研究される6名の先生方から、それぞれ研究概要の発表が行われました。贈呈式に引き続き、お祝いと懇談のための記念懇談会が開催され、助成を受けられた先生方を囲んでなごやかな歓談がなされました。

なお、この研究助成は引き続き平成13年度も7月から10月まで募集を行う予定です。



経済産業省 佐々木産業機械課長の来賓挨拶



平成12年度研究助成の先生方

## 第8回(平成12年度)マイクロマシン技術に関する研究助成課題

| NO.                    | 研究助成課題   | 研究代表者<br>共同研究者 | 機関名       | 所属                 | 役職  | 研究期間  |
|------------------------|--|----------------|-----------|--------------------|-----|-------|
| <b>(平成12年度研究助成 新規)</b> |  |                |           |                    |     |       |
| 1                      | 光照射によるマイクロレリーフ形成の超高度化とその応用                       | 関 隆広           | 東京工業大学    | 資源化学研究所            | 助教授 | 2年    |
| 2                      | μTASへの酵素高度集積化を目的とした、固相上微小部位への酵素分子の電気化学的固定法に関する研究 | 春山 哲也          | 東京工業大学大学院 | 生物工学研究科<br>生命情報専攻  | 助手  | 2年    |
| 3                      | ナノCMMにおけるナノプローブシステムの開発                           | 高増 潔           | 東京大学大学院   | 工学系研究科<br>精密機械工学専攻 | 助教授 | 2年    |
|                        |  | 古谷 涼秋          | 東京電機大学    | 工学部                | 助教授 |       |
| 4                      | 微細作業環境内で3次元トラッキング可能なマイクロハンドシステム                  | 新井 健生          | 大阪大学大学院   | システム人間系専攻          | 教授  | 2年    |
|                        |  | 谷川 民夫          | 機械技術研究所   | ロボット工学部            | 研究員 |       |
| 5                      | 金ナノ粒子の創成と新しい治療・診断システムの開発                         | 長崎 幸夫          | 東京理科大学    | 基礎工学部              | 助教授 | 2年    |
| 6                      | バルクSi三次元構造上のサーフェスマイクロマシニング                       | 佐々木 実          | 東北大学大学院   | 工学研究科              | 講師  | 2年    |
| <b>(平成11年度研究助成 継続)</b> |  |                |           |                    |     |       |
| 1                      | 温度応答性高分子を利用した非侵襲的一細胞マニピュレータの開発                   | 大和 雅之          | 東京女子医科大学  | 医用工学研究施設           | 助手  | 継続2年度 |
| 2                      | 刺激応答性ゲルの微細加工による微小レンズアレイ構築の基礎技術の確立                | 伊藤 嘉浩          | 徳島大学      | 工学部<br>生物工学科       | 教授  | 継続2年度 |
| 3                      | 生体分子反応をエネルギー源とするマイクロポリマーアクチュエータの研究               | 石原 一彦          | 東京大学大学院   | 工学系研究科<br>材料学専攻    | 教授  | 継続2年度 |
| 4                      | MIセンサを用いたカテーテル先端位置検出システム                         | 芳賀 洋一          | 東北大学大学院   | 工学研究科              | 助手  | 継続2年度 |
| 5                      | ナノ構造の電気・熱・機械特性の測定と評価に関する研究                       | 橋口 原           | 香川大学      | 工学部<br>知能機械システム工学  | 助教授 | 継続2年度 |
|                        |  | 藤田 博之          | 東京大学      | 生産技術研究所            | 教授  |       |
|                        |  | 安宅 学           | 東京大学      | 生産技術研究所            | 助手  |       |
| 6                      | 人工臓器を目指した化学システムの集積化                              | 北森 武彦          | 東京大学大学院   | 工学系研究科             | 教授  | 継続2年度 |
|                        |  | 久本 秀明          | 東京大学大学院   | 工学系研究科             | 講師  |       |

研究期間：(平成12年度新規) 研究期間2年の課題は平成13年3月下旬～平成15年3月31日

研究期間：(平成11年度研究助成 継続) 研究期間2年の課題は平成13年3月下旬～平成14年3月31日